

令和4年度 榎島ひいらぎこども園事業報告書

1 成果と課題（施設運営方針の実施状況）

(1) 感染予防の環境整備と行事の見直し⇒◎

消毒や換気の徹底に加え、幼児のマスク着用・食事中におけるパーテーションの設置などに取り組んできた。また、万が一、感染者が出た際の、感染拡大を抑えるために、縦割り活動は今年度もとりやめた。各行事については、その時の感染状況を鑑み、人数制限を設けるなどの対応をとりつつ、ほぼすべての行事を実施することができた。特に、2年間中止していた「夏まつり」を開催する判断は難しかったが、3部制にするなどの対応により、多くの卒園児・在園児・保護者の方々に楽しんでもらうことができたのは、よかった。

(2) 子どもを主体とした保育・教育の実践と環境整備及び保育者の育成⇒○

年間に位置づけられている大きな行事（運動会・作品展・発表会など）が、日々の保育・教育の延長線上にあることを意識し、普段の子どもたちの「遊び」の様子をしっかりと観察し、今子どもたちにどのような環境提供が望ましいかを考えてきた。サブリーダーを中心に、子どもたちの様子を交流しあうことで、廃材集めがタイムリーに実施できていたなど成果が見られた反面、園全体としての周知が不十分な面もあり、課題ものこる。

(3) 保育者の力量を高め、的確な保護者支援を行うことで、児童虐待の予防・啓発につなげていく。⇒○

要保護児童については、担任を中心にしっかり状況の把握に努めたことで、該当園児の生活もかなり安定してきたことが伺われる。子育てに対する不安からか、少し距離を感じる保護者であったが送迎時に担任と話を重ねる中で、家庭での様子を自ら知らせるなどの様子が見られるようになってきた。ただ、本児の抱える問題の根が深く、表面化しにくい点においては、今後も注意が必要と考える。

(4) 支援を必要とする子どもの教育・保育の充実⇒△

加配として対応している子どもへの寄り添いはしっかり進められていたと思うが、保護者の理解が進まない子について、療育につなげられなかった例も見受けられた。また、就学についても同様である。支援を必要とする子が、年々増加傾向にあり、担任と加配の職員だけでは、対応が難しいこともあることから、園全体で育てていくという視点を今一度再確認したい。

(5) 保育教諭・栄養教諭・看護師の専門性を高める。⇒○

研修の充実とズームによる受講が可能であったことなどから、多くの職員が内容の濃い研修を受ける機会が持てたことは、大変良かったと考えるが、実践できているかという事になるとまだまだ課題が大きい。学んできたことを、伝達する機会を持つことで、更に学びが深まることから、園内研修などで、もっと取り入れていきたいと考える。

(6) 国のガイドラインに沿った事故防止・健康安全対策及び災害対策を強化する。⇒△
裏門の施錠システムの改善に取り組むなど、不審者への安全対策は一步前進できたように思うが、
大雪等、予想を超える自然災害の際の対応は十分とは言えない。大雨や大雪が予想される際の、
「休園」の措置が、スムーズに行えるようなシステムの構築が求められる。

(7) 栄養教諭・栄養士を中心に、食育計画を進め、食育のさらなる充実を図る。⇒○
コロナ禍ということで、「食す」という取り組みに大きな制約がかかったことで、クッキングな
どは、かなり回数を減らす結果となったことや、「黙食」ということで、食事を楽しむという点
で、かなり難しい状況ではあったが、豚汁パーティーや焼きも大会が実施できたことで、自分た
ちが育てた作物を収穫し、みんなで味わうという有意義な体験ができた。

2 年間教育・保育日数

1号認定 238日（年長は240日）

2・3号認定 290日（年長は291日）

3 利用者数

(1) 槇島ひいらぎこども園 在園児数

歳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	短時間	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	標準	13	14	14	16	16	16	16	16	16	16	15	14
1歳	短時間	3	4	3	2	2	2	1	1	1	2	2	2
	標準	27	26	27	28	28	28	29	29	29	28	28	28
2歳	1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	短時間	5	6	6	5	6	5	6	6	8	8	7	7
	標準	27	26	26	27	26	27	26	26	24	24	25	25
3歳	1号	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	短時間	5	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4
	標準	31	32	32	32	32	32	32	31	31	31	31	31
4歳	1号	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	短時間	4	5	4	3	3	3	4	4	5	5	5	5
	標準	33	32	33	34	34	34	33	33	32	32	32	32
5歳	1号	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	短時間	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2

	標準	3 3	3 2	3 2	3 2	3 2	3 2	3 2	3 2	3 1	3 1	3 2	3 2
合計		190	190	190	191	191	191	191	191	191	191	191	191
平均在園率(%)		102	102	102	103	103	103	103	103	103	103	103	103

(2) 一時預かり事業利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数(人)	9	10	44	29	36	27	30	40	61	61	35	59
保育日数(日)	20	19	22	20	18	20	20	20	20	18	19	21
1日平均(人)	0.45	0.53	2	1.45	2	1.35	1.5	2	3.05	3.38	1.84	2.8
合計	441人(1日平均1.86人)											

(3) 子育てサポート事業

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一時預かり(人)	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0
園庭開放(組)	5	3	0	0	2	4	1	1	1	0	3
計	5	4	0	0	3	4	3	1	1	0	3
総計	24組										

- ① 未就園児一時預かり(月1回土曜日)利用者数 4人
- ② 園庭開放(毎週火曜日)年間利用者数 20組
 - ・遊びに来た際に、園内の見学を希望されることが多い。
 - ・園庭に出ている在園児に交じって遊ぶ姿が見られる。
 - ・子育ての悩みや入園の相談をされることもある。

4 職種別職員数(令和4年3月31日現在)

	園長	副園長	主幹保育教諭	指導保育教諭	保育教諭	保育補助	看護師	栄養士	調理師	警備員	事務員	保全員	ボランティア	合計
正規職員	1	1	1	1	25	0	1	2	0	0	0	0	0	32
パート職員	0	0	0	0	14	8	0	0	2	1	1	2	1	29
合計	1	1	1	1	39	8	1	2	2	1	1	2	1	61

(正規職員のうち1名が産休)

5 年間行事実施内容 (資料 槓1)

6 小学校との接続

(1) 連携行事の中止等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式・卒園式等の儀式的行事の参列をはじめ、運動会や参観といった行事のすべてにおいて、中止や縮小がされ、交流を持つことができなかった。

(2) スムーズな就学に向けて

① 情報交換と共有

年長児においては、「教育相談」を受けた園児について、小学校の支援コーディネーターの先生と数回にわたり、情報交換するなどしてきた。これをもとに、「普通級」「支援級」「支援学校」といった進路について、『支援シート』も活用しながら、保護者の意向を交え、その子一人一人に応じた学びの場所について、共に考える機会を持ってきた。また、年度終わりに、就学先の各小学校と連携するための時間をとってきた。特に、今年度、医療ケアを必要とする園児が就学期を迎え、学校や医療機関等との連携が強く求められたことにより、連絡会議に参加するなどしたことで、教育委員会の方針などに触れる機会が多くあった。

② その他

○ 園だより・学校だよりでの情報共有 (月1回)

卒園児の小学校での様子などを知ることができ、保護者との会話が弾むなどの効果が得られ、大変有効であった。

7 職員研修内容

(1) 園内研修

- ・日時 令和4年6月24日(金) 13時30分～14時30分
講師 宇治消防署
内容 救急救命講習
受講者 保育教諭・看護師 11名



- ・日時 令和4年6月30日(木) 13時30分～14時
山本容子主幹保育教諭
内容 園児指導要録の記入の仕方について
受講者 保育教諭 13名



- ・サブリーダー主催 研修
日時 令和4年8月26日(金)
内容 「主体的な遊びを見て育つ子ども」DVD
大豆生田啓友・中坪史典 編著 エイデル研究所 制作



事例を見てのグループ討議

受講者 保育教諭 11名

- ・日時 令和4年10月31日(月) 13時～14時
- 講師 エール株式会社 体育指導部長 杉島秀政氏
- 内容 園で導入している遊具を使用して実技を交えながら
○子どもを導く言葉かけ ○遊びの展開・発展
- 受講者 保育教諭 15名



(2) 派遣研修 (資料 槓2)

令和4年度 キャリアアップ研修修了者数 のべ21名

8 安全衛生委員会

議長	副園長	杉浦 京子
産業医	株式会社 Dr 健康経営・産業医	大森 直美
衛生管理者	園長 看護師	宇野 智子 尾谷 加奈
委員	主幹保育教諭 看護師	山本 容子 木村 理恵

(1) 委員会 月1回会議開催(面談希望者無)

(2) ストレスチェックを実施

- ① 実施日 令和4年7月15日(金)～7月25日(月)
- ② 委託業社 株式会社職業性ストレスチェック実施センター(株式会社 Dr 健康経営委託)
- ③ 受検者 57名(正規職34名 非正規職員23名 受検率100%)
- ④ 結果
 - ・令和4年度より、産業医と連携業者によるは同委託業者による1回目のストレスチェックであった。総合健康リスクは、99で全国平均を100とした値に比べ、2ポイント健康リスクが低下しており、去年と比べて3ポイント改善していた。内容的には「仕事の量的負担とコントロール」の評価は103で2ポイント改善、「職場の支援」は96であり2ポイント改善していた。
 - ・「正規」「非正規」の雇用形態別でみると、正規職員は昨年度より総合健康リスクは91と10ポイント改善し、非正規職員は108ポイントと7ポイント高くなった。正規職員の「職場の支援」が89ポイントと昨年度より6ポイント改善し、職場のサポート体制が良くなっていると感じている正規職員が増えた。
 - ・「乳児担当」「幼児担当」の業務分野別でみると、乳児・幼児ともに「仕事の量コントロール」の項目で乳児108ポイント、幼児104ポイントとなり100ポイントを上回った。
 - ・年代別でみると、どの年代においても「仕事の質的負担」の値が高く、40代以下が106ポイントと高くなっていた。

- ・「高ストレス」と判定されたのは 5 名(8.5%)で去年の 7 名(12.3%)に比べて減少している。
- ・離職者は計 8 名で年度途中の離職者が 3 名(メンタル面の理由と家庭の都合)、年度末での離職者は 5 名(全員自己都合の理由)であった。

⑤ 考察

去年よりストレスを感じている職員が減少し、改善計画を立て職場改善の取り組みを実施してきた成果があったと思われる。特に仕事の負担が大きくなり正規職員が職場のサポート体制が良くなっていると感じている事は評価できる点である。しかしながら、職員の心身両面にストレスは依然かかっており、引き続き働きやすい職場づくりをめざして取り組む必要がある。

⑥ 改善計画

- ・取りたい時にできるだけ有休を消化し、年 5 日以上を確保する。また土曜日出勤した場合は、協力しあいながら必ず振替休日を取得し、完全週休 2 日制で休息の確保を促す。各自の年休消化状況をわかりやすく可視化する。
- ・引き続き若い年代の職員をクラスリーダーに据え、責任とやりがいを感じ取れるよう担任配置を工夫する。
- ・夕方の延長保育時間帯に引き続き正規職員 1 名を遅出当番の専属とし、他の正規職員の遅出の当番の回数を減らし身体的負担を軽減する。
- ・乳児・幼児全体を把握できるベテラン職員をフリーに置き、状況に応じて柔軟に対応できるようにする。
- ・個別面談の機会を年 2 回を維持する事で、職員の抱えている不安や要望を表出できる機会を確保し、働きやすい環境を整える。

9 保健室実績・感染症による欠席状況

(1) 病気早退延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳児	23	29	27	25	23	19	6	26	36	25	13	7	259
幼児	13	5	9	10	8	7	13	17	16	9	20	6	133
合計	36	34	36	35	31	26	19	43	52	34	33	13	392

(2) 感染症による欠席状況 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザ										12	55	4	71
水痘										3			3
流行性耳下腺炎													0
りんご病													0

手足口病						11							11
溶連菌感染症													1
A型肝炎ウイルス感染症		2		1									3
RSウイルス感染症					1								1
ヘルパンギーナ						2							2
マイコプラズマ肺炎													0
ウイルス性胃腸炎										4			4
新型コロナウイルス感染症	17	3		16	36	4		5	8	2			91
合計	17	5	0	17	37	17	0	5	8	21	55	4	186

10 課外教室参加者数

(1) ジョニーのサッカースクール (講師 松下 洋亮氏)

(毎週水曜日 15:30～16:30 まで)

参加者：年中 11 人 年長 12 人

(2) 空手道場 (講師 加藤 吉辰氏 加藤 映彦氏)

(毎週火曜日 15:30～16:30 まで)

参加者：年中 9 人 年長 10 人

11 実習生・インターンシップ・ボランティア

(1) 保育実習

令和 4 年 8 月 24 日～8 月 27・29・30 日・9 月 5 日～8 日

京都文教短期大学 1 名

令和 4 年 9 月 9・10・12～17・20・21 日

京都文教短期大学 1 名

令和 5 年 2 月 13 日～2 月 25 日

京都文教大学 2 名

(2) 中学校出前講座

① 日時 令和 5 年 2 月 21 日 (火) 10 時 30 分～12 時 15 分 (2 コマ)

② 場所 宇治市立槇島中学校

③ 対象 2 年生 20 名×2 コマ

④ 内容 中学生のキャリア教育「職場観を学ぶ」

～乳幼児の保育・教育を担う施設の仕事～

*コロナ感染拡大防止の観点から、職場体験の受け入れができなかったため、中学校からの依頼により、園長が講師として学校に赴き、中学生 20 人を対象に話をする取り組みが 10 月に予定されていた。しかしコロナがまん延し、学級閉鎖

となるなど、中学校サイドの都合で、一旦取りやめとなったが、生徒からの強い要望があり、年度末に実施されるに至る。参加予定だった企業・事業所の数が減ったことにより、2コマとなる。

(3) 高校生インターンシップ

令和4年7月25日～29日 2名

令和4年8月22日～26日 1名

(令和4年8月1日～5日の予定だったが、コロナウィルス濃厚接触者となり変更)

(4) 子育て支援員養成講座

基本研修 令和4年6月3日・7日 木村

地域子育て支援員研修 令和4年12月2日・5日 木村

(5) ボランティア

京建労（全京都建築労働組合）の方より、園内の修繕を申し出ていただいた。

令和4年6月4日土曜日 10時～12時

給食休憩室の扉をスムーズに動くよう調整

しずくぐみ保育室・おがわ保育室の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り付け

しずくぐみ保育室収納内の棚設置

給食室ガスコンロ側の窓に水遊びの水が入らないよう、園庭の柵に波板を貼り付け

保育室扉はがれ部分の塗装



12 保護者アンケート （資料 槇3）

13 地域との交流

新型コロナウイルス感染防止のため、実際に訪問して交流はできなかったが、グループホーム鳳凰槇島さんより、入居者さん手作りのこいのぼりとメッセージをいただいた。年長組が七夕の笹飾りを手作りしプレゼントし、お渡しした。



14 教育基金の活用

(1) クリスマスプレゼントの配布

保護者からの援助という形で徴収することとなった「教育基金」の中から、園児にクリスマスのプレゼントを配布。

プレゼントの内容については、各学年の担任が選定する。

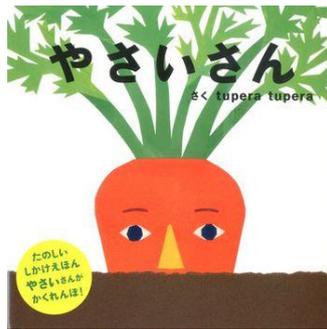
ただし、0歳～2歳児クラスについては、「絵本」とし、各学年の担任が選定した3冊の中から、予め保護者に選んでもらった本を用意している。

絵本を通して、親子で語り合う時間を持ってもらえればと思う。



しずく組 絵本の選書についてのお願い

今年のクリスマスプレゼントに絵本を考えています。そこで、以下の絵本の中から1冊選んでいただきたいと思います。発注の都合上 11月25日（金）までにお選びいただき、番号もしくは絵本の題名を連絡帳に書いて、お知らせください。



(2) 演劇鑑賞

令和5年1月16日（月）

人形劇団京芸

パペット ショート・ショート「あれ？なあに？」「モニョモニョモニャモニャ」
密を避けるため、2学年ずつ鑑賞



(3) 卒園記念品

卒園児を対象に、傘・鉛筆・ランチョンマットを配布。

15 社会貢献

- (1) 地域の運動広場の管理と運営（京都府所有の芝生広場の管理）
芝生の散水、除草、芝刈り、施肥、ゴミ等の清掃
地域住民への利用許可等、管理と運営



- (2) 地域の避難所としての備蓄品保管
ポータブルバッテリー
災害用飲料水、クッキー（非常食）、
災害用ミルク



- (3) 芝生広場の安全活用についての会議の開催
京都府・地域住民（自治会長）・園長の3者で
芝生広場の運用における課題などについて話し合いを持つ。

16 1年を通しての取組例

《「お茶」をテーマにした年長組の1年間の取組》

- 4月 絵本「お茶ができるまで」などの読み聞かせにより

興味をもつ



- 5月10日（火） 茶業センターへの見学・茶摘み体験

・茶業センターの方からお茶についてのお話を聞かせていただく



・お茶摘みを体験する



・石臼でお茶をひく体験をする

- 5月11日（水）

10



手もみ製法でお茶づくりに挑戦



●5月18日からの週一 利き茶体験

煎茶・ほうじ茶・ウーロン茶・紅茶・雁金茶の色や香り、味の違いを楽しむ



実際に茶業センターで収穫させてもらった茶葉をホットプレートで炒り、

●5月19日（木） 茶団子づくり



ひとつひとつ丸めていきま



大きなお鍋でゆで上げた物を、串にさし





レーブ + わい！かーたです！

●11月 作

陶芸の先生に教えていただきながら、世界に一つだけの自分の茶器づくりに挑戦しました。



みんな 青銅色のもの

焼き上がった茶器は、作品展で



●12月20日（火） お茶席体験

茶道を学ぶ職員から手ほどきをうけました。



もてなす側は、懐紙やお菓子にも その時々季節



やや難しい作法ですが、先生を

少し苦かったけど



【1年を通しての取組を振り返って】

年長組では、宇治の特産物である「お茶」をテーマに取り組むことが、年度当初に位置づけられたことから、郷土、広くは日本の文化に触れることを意識しての取組となった。

まずは、「お茶」についての興味・関心を高めるきっかけづくりとして、絵本を用い、普段何気なく飲んでいるお茶にもいろいろな種類があることに気づき、茶業センターのご協力も得て、「茶摘み体験」をすることができた。また、実際に摘み取った茶葉を持ち帰ることができたので、給食室でてんぷらにしてもらったり、茶団子を作ったりして楽しんだ。

年長組の活動の中心となるストーリーには、「お茶好きの魔女 マジョンナさん」が、お泊り保育や運動会といった大きな行事はもとより、年間を通じて、様々な場面で登場してきた。その都度、お茶に関連した入浴剤や飾りなどを取り入れることで、1年を通して、途切れること

なく取り組みを続けることができました。

本活動の集大成として位置づけたのが、抹茶を点ててのお茶席体験だった。毎年作品展に向けて陶芸作品に取り組んできたのだが、今年は、敢えて自由作品ではなく「茶器」に絞って製作した。焼き上がった、世界に一つしかない自分のお茶碗で、宇治の抹茶をいただくという活動は、日本の文化に触れる貴重な体験であり心に残るものとなったと考える。

今回の取組を通して、職員の連携だけでなく、地域の和菓子屋さんとも、繋がることできるなど、たくさんの副産物も得ることができた。

17 苦情受付の状況

(1) 令和4年7月1日(金) 地域住民より入電

【内容】園前の団地の方から入電。園前の芝生ひろばに遊びに来ている子どもたちが遅くまでいる(19時)。サッカーをしていて、フェンスに当てている音がうるさい。土日と同様で困っている。6日にも同様に入電。

【対応】平日の18時以降の使用については、注意して帰ってもらうように声をかける、芝生広場は園のものではなく園も困っていること、京都府が団地の自治会と園の三者で使用について協議する考えであること、東側にフェンスを建てる計画であることをお伝えしている。

(2) 令和4年8月2日(火) 保護者より

【内容】保育支援課に手紙が無記名で届き、園に報告。

コロナ禍でのなつまつりの開催はいかがなものか。怖くてまつりにはいけない。園ではコロナの感染者がでて濃厚接触者なしとの報告になるが不安。危機感がないのでは。

【対応】事前になつまつりに不安を感じるようであれば、参加は控えてもらうようにメールし、当日は感染対策をとって開催。

園での濃厚接触者なしになるのは保健所へ報告した際、園の感染対策で決定されている。無記名だったので返答できてない。

(3) 令和4年10月4日(火)

【内容】9月30日付けで保護者に園の開園時間の変更(平日は19時、土曜は17時30分に閉園する旨を記載)プリントを配布。土曜の閉園時間の変更を指導してほしいとの申し出だった、と市より連絡があった。

【対応】土曜については令和2年よりプリントや重要事項説明書で知らせていたが認識がなかった模様。匿名での申し出だった。

18 施設設備

(1) くすのきひろば くすのきはうす

開園当時からあり、何度か補修していたが、ささくれで怪我をすることが増えたため、新しく建て替えた。

施工日 令和4年4月9日、16日

施工業者 稔工務店

事業費 600,000円

改修前



改修後



(2) そら1・2くみ (2歳児) 保育室床暖房工事

冬になると素足で歩けないほど冷たく、クッションフロアがないと過ごせなかったため、床暖房にすることで、心地よく過ごせようになった。

施工日 令和4年5月2日～5日

施工業者 第一製作所

事業費 2,232,780円

改修前



改修後



(3) LED工事 ぎんが1・2くみとコスモスホール

蛍光灯からLEDに交換工事

施工日 令和4年7月2日

施工業者 伊藤電機

事業費 295,900円



(4) 外用シャワー取り換え工事

気温低下のためシャワーから水漏れがあり、寒冷地仕様のシャワーと交換した

施工日 令和5年1月28日 2月2日

施工業者 照喜名工業

事業費 141,900円

改修前



改修後

